



日頃何気なく着ている服装には、その人の個性や好みが強くと出ており、それにより、その人のライフスタイルをイメージでとらえることができます。その中でも着る服の色は、私たちが思っている以上に見る人に様々な印象を与えています。そして、その色のイメージを上手に使用すれば、なりたいたい自分に近づけると思っています。

しかし、自分のなりたいたいイメージにはどの色の服を合わせれば良いのか、分からない！また、色の組み合わせにも限界が来た！ということはありませんか？そんな時にぜひ参考にしていただきたい本を2冊紹介します。

まず1冊目は、「カラー・イメージ事典」です。この本は、たくさんの色の服の写真と一緒にそれぞれの色が与える印象やイメージが事細かに書かれており、その日の気分や、自分がなりたいたいイメージの色をすぐに見つける事が出来ます。また様々な配色も書かれており、自分が今までに合わせた事のない色の組み合わせを発見することも出来ます。

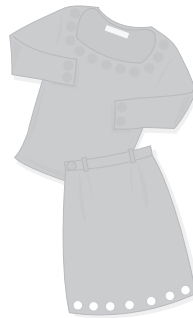
2冊目は、「色彩検定3級問題」です。これはファッション業界で働く人達が、色の知識理解の手助けとして取得する検定試験問題集です。

色の分類や配色の種類、流行色や色と柄の関係など、色のことを深く知る事で、より一層ファッションを楽しむことができますと思います。

私もこの2冊の本から得た色の知識を使って、今まで苦手だった色の服にも挑戦する事ができ、コーディネートが広がりました。また、同じ色の組み合わせでも、どんな割合で色が使われているかによって、雰囲気や印象が変わるという事も学びました。みなさんもこの本を読んで新しい自分に会ってみませんか？

おすすめ文献

1. 小林重順 監修、
日本カラーデザイン研究所 編
『カラー・イメージ事典』（講談社）
757.3 || Kara
資料ID：303713
2. 大島未有希、遠山令子 著
『色彩検定3級問題：いもづる式で
スラスラとける！』（明日香出版社）
757.3 || Osh
資料ID：497143



きったか あやな（英米語学科4年次生）